

六甲・摩耶急行バスを運行



都心と「まやビューライン」「六甲ケーブル」をつなぐ「六甲・摩耶急行バス」を7月～11月の間、社会実験で毎日運行しています。六甲山の活性化では、山上の保養所など遊休施設のリニューアルへの支援を拡充し、「賑わい創出事業」をさらに進めます。

須磨海岸にファミリーエリア設置

遠浅化や遊歩道の整備を進めている須磨海岸で、親子で安心して楽しめる「ファミリーエリア」を新設しました。今後、遠浅化工事を東エリアにも広げていきます。また、須磨コトハーバーには、カフェ&ダイニング「NORTH SHORE」がオープンし、連日賑わっています。



異常高温対策で「打ち水大作戦」「ミスト設置」

JR三ノ宮駅南広場で「こうべ打ち水大作戦」を実施。家族連れら約100人が一斉に水をまくと7度ほど気温が下がり、その効果を実感しました。8月には「新開地



夏まつり」や「新長田鉄人広場」でも打ち水大作戦を実施。

また、市内の市立学校園と公共施設にミスト装置を設置。さらに、体調が悪くなったときの相談窓口として、昨年10月に開設した「救急相談ダイヤル#7119」の活用も呼びかけています。

阪神高速湾岸道路西伸部 年内工事発注へ

阪神高速道路3号線の慢性的な渋滞など、市内道路の混雑を解消するため、大阪湾岸道路西伸部の工事が年内に発注されることが公表されました。

また、神戸西バイパスの延伸工事に有料道路事業が導入され、西区、垂水区エリアの生活道路の渋滞緩和に向けて早期整備が図られます。



ニュージーランド競泳オリンピックチームの神戸での合宿決まる

2020年東京五輪の競泳ニュージーランド代表の事前合宿地が神戸に決まり、協定書の締結式を行いました。ニュージーランド代表は、来年の韓国・光州、2021年の福岡で行われる世界水泳選手権の事前合宿も神戸で行います。また、パラリンピックチームでは、既に、豪州(12競技)、ネパール(競泳)の誘致が決定しています。

久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介ください。

小中学生とスマートスマホ都市KOBÉフォーラム開催～スマホの適正利用、ITを活用した課題解決～

小中学生と久元市長が、スマートフォンやインターネットの適切な利用について話し合いました。

6月には、自治体で初めてスタートアップ企業と行政による地域課題解決プロジェクト「Urban Innovation KOBÉ」がスタート。7社のスタートアップ企業と地域の課題をITを活用して解決するための実証実験を行っています。

また7月には、フェイスブックジャパンと自治体初となる「地域経済・コミュニティ活性化に関する事業連携協定」を締結。市政情報の発信力強化、地域経済と地域コミュニティの活性化に取り組めます。



「ゆけむりバス」の試験運行始まる～市内各地で地域コミュニティ交通を支援～

神鉄有馬温泉駅を中心に、温泉街を周回するコミュニティバス「ゆけむりバス」の試験運行を開始。地域住民や観光客の移動手段となることを目指していきます。

すでに本格運行している垂水区塩屋地域・北区八多町をはじめ、試験運行中の



北区北五葉地域など、地域コミュニティ交通の実現に向けた支援を行っています。そのほか、北区筑紫が丘地域では、自動運転車両を用いた移動サービスの試験運行を行うなど、新しい交通手段の取り組みも行っていきます。

北区役所移転 ～区役所の整備を進めます～

北区役所が、鈴蘭台駅前再開発ビルのオープンとともに、同ビルに移転しました。あわせて駅前広場の整備を進めていきます。また、北神地域の行政機能を強化するため、来年4月に北神区役所と北神図書館を設置します。

兵庫区役所は、来年夏頃の供用開始を目指して建設を進め、あわせて湊川公園の整備も行ないます。今後、中央区、西区でも区役所建設を順次、進めていきます。

フレイル予防と改善の取り組み

健康寿命政令市No.1を目指して、高齢者に早い時期にフレイル(虚弱な状態)に気付いてもらう「フレイル予防支援事業」と、改善を目指す「フレイル改善通所サービス」を、10月から一体的に実施します。地域の身近な場所で実施し、地域での社会参加にもつなげていきます。



発行:新しいステージの神戸をつくる会
Oct. 2018 第9号
651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新美蓉ビル内
TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

KOBÉ 上昇気流 Vol.9

あなたとともに、神戸を新しいステージへ



昨年10月の市長選挙で、皆様からの力強いご支援により引き続き市長の重責を担わせていただけてから、1年が経とうとしております。改めて心からの感謝と御礼を申し上げます。

今、私たちは人口減少・超高齢化社会という大きな壁に直面しています。その中で、まちの活力をどう維持・向上させ、新しい神戸のまちを築き上げていけるかが問われています。

そのためには、チャレンジ精神のもと、新たな発想・手法で、持続可能な大都市経営を行っていく必要があると考え、あらゆる政策を動員し、スピード感を持って取り組みを進めているところです。

本号では、この1年の主な取り組みについて、その一端を紹介させていただきました。ご一読いただければ幸いです。

神戸は確実に勢いを取り戻しています。さらなる新しいステージの神戸を創るために全力で取り組みます。引き続き神戸市政への参画とご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年10月

神戸市長 久元喜造

— 久元市長2期目 — この1年の主な取り組み



神戸観光局がスタート

「日本版DMO」として、神戸観光局が発足しました。神戸のブランド力をさらに高め、圏域全体の魅力発信に努めます。今年3月から「南京町生誕150年記念事業」を実施、10月からは「食」と「ナイトタイムエコノミー」による外国人観光客の誘致に取り組むなど、新たな事業を展開していきます。



平成29年12月

神戸アイセンター開所

～神戸医療産業都市が20周年を迎えます～

「神戸アイセンター」が、医療産業都市の新たな中核施設として開設されました。眼科領域で、世界最先端の基礎研究から最適な治療の提供、ロービジョンケア



まで対応する、全国初の眼のワンストップセンターになります。

20年目を迎える医療産業都市では、今年4月に「神戸医療産業都市推進機構」が発足し、10月19日には20周年の記念式典を開催します。

神戸港のコンテナ貨物取扱量が最高記録を更新

神戸港のコンテナ貨物取扱量が、昨年は292万4千TEUとなり、最高記録を更新。今年上半年期のコンテナ取扱個数も過去最高を記録しました。

また、客船の入港隻数は、昨年、阪神・淡路大震災以降最多となる118隻となり、今年は、過去最多の140隻を超える見込みです。



平成30年1月

長田区役所に総合窓口を設置

～今後、全区役所での設置を目指します～

長田区役所に総合窓口を設置しました。引越しに伴う複数の手続きが1か所で行えるようになりました。東灘区役所に続き2か所目になります。9月には北区役所でも庁舎移転にあわせて設置し、垂水区役所は来年1月、兵庫区役所は来年の庁舎建替と同時に開設を予定しており、今後、全区役所での設置を目指します。



平成30年3月

ノエビアスタジアム神戸 芝生ピッチをリニューアル～ラグビーワールドカップ開催準備進む～

ノエビアスタジアム神戸では、Jリーグでの使用はもちろん、「ラグビーワールドカップ2019」神戸開催に向けて、ハイブリッド芝などの先進技術を導入。3日のJリーグ開幕戦で、日本初の新しい芝生ピッチがお披露目されました。

4月には、「ラグビーワールドカップ2019」公認チームキャンプ地が発表され、アイルランド、イングランド、スコットランド、南アフリカ等の公認チームのキャンプ地が神戸に決まりました。



全国初のヒアリ等対策マニュアルの策定

～新たな危機事象や激化する気象災害への対処～

昨年6月に、国内で初めて特定外来生物「ヒアリ」が確認されて以降、ヒアリ等対策本部を設置し、全庁的な対応に取り組むとともに、3月には、全国初となる実践的なマニュアルを策定しました。

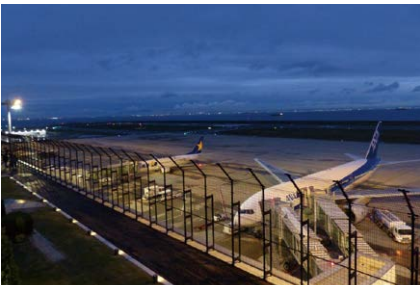
また、大阪北部地震を受け、民間所有の危険なブロック塀を撤去するため、9月議会で補正予算案を提案。津波対策では、千年に一度クラスのレベル2津波への対応として、水門の遠隔操作化等の整備も進めています。

太陽光発電について、防災等の観点から、太陽光発電パネルの適正な設置に向け条例の制定を目指します。



平成30年4月

神戸空港のコンセッション方式による民間運営がスタート



関西エアポート神戸(株)による神戸空港の運営がスタート。神戸空港は、29年度には過去最高の307万人の搭乗者数を達成し、引き続き30年度4～8月の搭乗者数も過去最高を更新するなど、好調を持続しています。

認知症の人にやさしいまちづくり条例を施行

「認知症の人にやさしいまちづくり」を推進するため、条例を制定。新たな診断助成制度と事故救済制度を組み合わせた、全国初の取り組みとなる神戸モデルの実現に努めます。

メリケンパークに噴水

～ウォーターフロントの魅力UP～

神戸開港150年を記念してリニューアルされたメリケンパークに噴水が完成。新しい魅力スポットが誕生しました。さらに、第一突堤基部の再開発プロジェクトを推進し、アクアリウムやミュージアムなどウォーターフロントにふさわしい賑わいづくりを進めます。

また、都心とウォーターフロント地区のアクセスを改善するため、税関前歩道橋の再構築を進めるとともに、昨年度に続いて、連節バス運行の社会実験を10月に実施する予定です。



世界初！市街地で水素100%による熱電供給を達成

ポートアイランドの実証試験において、市街地における水素燃料100%のガスタービン発電による電気・熱供給を世界で初めて達成しました。

JR元町駅東口前にまちなか拠点誕生

～まちなか拠点の整備、都心・三宮の再整備～

JR元町駅東口前に、待ち合わせや休憩のできる場所として、ベンチ・案内サインなどをしつらえ、賑わいや憩いを創出、歩行者の回遊拠点を整備。さらに、三宮中央通りの「KOBEPARKレット」「三宮プラッツ」「新神戸駅の高架下道路」など、道路空間のリデザインを進めます。

都心・三宮の再整備では、新たなバスターミナル1期の事業化にむけ、5月に「雲井通5丁目再開発株式会社」を設立。また、7月には、「新中央区総合庁舎整備基本計画」、9月には三宮駅前空間の目標像を示した「神戸三宮「えき～まち空間」基本計画」を策定、着実に整備を進めています。

芝生化で人気スポットの東遊園地も再整備の検討を進めています。



平成30年5月

子育てしやすい環境づくり(待機児童対策緊急プロジェクト)を進めます

保育施設の整備、企業主導型保育事業の推進、保育人材の確保など、待機児童の解消に向けて、緊急プロジェクトを進めています。あわせて、子育て環境の充実に力を入れ、学童保育受入体制も拡充します。来年5月には、北区岡場駅に学齢前児童の遊びの地域拠点を整備するほか、北区鈴蘭公園では、新しい遊具の設置を進めています。



マッキンゼー・アンド・カンパニーが神戸に拠点～神戸への企業進出は引き続き好調～

世界有数の経営コンサルティング会社「マッキンゼー・アンド・カンパニー」の、アジアで初となるラーニングセンターが、神戸に開設されることが決定しました。また、都心部を中心にIT関連企業の進出が続いています。産業団地では、大規模な工場などの進出が相次いでおり、テクノ・ロジスティックパークも、昨年度末で全体の8割の区画に企業が進出しています。

平成30年6月

神戸文化ホールのピアノ更新や美装化

神戸文化ホールは、都心・三宮の再整備に伴い、「新・神戸文化ホールの整備基本計画」を策定し、新設されるバスターミナルと市役所2号館新庁舎に新たなホールを移転する計画を進めています。しかし、移転には時間がかかるため、現ホールを少しでも快適に利用していただけるよう、ピアノの更新や、女性用トイレの増設・美装化など環境改善に取り組めます。

また、文化関連施設では、西区の拠点である西神中央駅周辺に、ホールと図書館を整備する計画を進めています。



子育て世帯の銭湯利用促進事業の実施

～子育て世帯の経済的負担の軽減～



子育て世帯に親子で銭湯を楽しんでいただくため、子どもの料金を無料に、親の料金を半額にします。

さらに、子育て世帯を対象に、しあわせの村の駐車場無料(7月～)、自転車駐車場半額(8月～)を行い、また、北神急行電鉄を利用する高校生の通学費助成(9月～)と、次々と子育て世帯への支援を展開しています。

保育人材の確保

～市長が大学で、神戸で働く魅力をアピール～

保育人材を確保するため、久元市長が保育士を養成している大学に出向き、学生に対して神戸で保育士・幼稚園教諭として働くことの魅力をアピールしました。

また、人材確保に向けて、一時金の支給や宿舍借り上げ支援の拡充などの対策を充実していきます。



平成30年7月

区役所・支所の窓口業務を毎週木曜日20時まで延長



区役所・支所の窓口業務を、毎週木曜日は夜20時まで延長(従来は第2・4木曜日19時まで)しました。住民異動届など引越しに関する届出の受付や住民票・印鑑証明などの各種証明書を発行します。

新開地に喜楽館オープン

新開地に落語の定席「喜楽館」が開館しました。オープンに伴い、メトロ神戸の地下道をリニューアルし、また、喜楽館の利用促進を図るため、夜間の貸館料助成を行っています。

文化の振興では、今年冬に、(仮称)神戸冬の音楽祭の開催を予定しているほか、市立博物館のリニューアルを進めています。また、4月から、小磯記念美術館やファッション美術館、神戸ゆかりの美術館の入館料を市内高校生以下は無料にして、子ども達が芸術に触れる機会を増やしています。



「鵜越合葬墓」が完成

～承継者の心配がない、ご遺骨を共同で納める合葬式墓地～

「承継者がいない」「将来子や孫に負担をかけたくない」などの理由から墓じまいされる方が年々増えています。

その受け皿となる合葬式墓地が、市立鵜越墓園内に完成しました。